

ネット配信による授業実施における合理的配慮について

2020年5月11日版

学生支援センター 障がい学生支援室

2020年4月9日付緊急対策本部長からの文書により、春学期の授業を原則ネット配信（双方向オンライン型の授業、動画配信、資料配信など）で実施する旨が通達されました。これにより、先生方におかれましては、授業の準備に追われておられることと存じます。

春学期中すべての授業が原則ネット配信で行われることにより、これまで、障がい学生支援室のサポートスタッフが行ってきた対面での情報保障や支援の方法を変更せざるを得ない状況となりました。個別の先生方には、すでに、具体的に配慮していただきたいことやお願いしたい内容についてご相談をしておりますが、ここには、「ネット配信」授業において、障がい学生（主に聴覚障がい、視覚障がい学生）のためにご留意いただきたい一般的な内容をまとめておりますので、ご参照いただければと思います。

本文書は、先生方からのご意見や障がい学生の状況を踏まえて随時更新していく予定です。お気づきの点などございましたら、障がい学生支援室（jt-care◆mail.doshisha.ac.jp ※左記アドレスの◆を@に変換し送信してください。）までご連絡ください。

【聴覚障がい学生に対する配慮】

聴覚障がいの学生には、授業内容、教材・資料の音声部分の情報を視覚情報に変えて提供する必要があります。ネット配信による授業形態（学習支援・教育開発センター資料より）ごとに、合理的配慮の内容やご留意いただきたい点、配慮いただきたい点について記載いたします。

1. 資料提示による授業における配慮について

資料提示による授業方法には以下のようなものがあります。聴覚障がいの学生は、音声を聞き取ることが困難、あるいは聞き取れませんので、①と③については、聴覚障がい学生のための配慮をお願いいたします。

- ① PowerPointのスライドの音声をつけて提示
- ② PowerPointのスライドに文字による解説（ノート）をつけて提示
- ③ 任意の形式の各種資料とともに講義内容の音声データを提示
- ④ 任意の形式の各種講義資料とともに詳細解説の資料（Word等）を提示
- ⑤ e-classでの課題研究

配慮・ご承諾いただきたい内容

- ・ 障がい学生支援室（もしくはサポート学生）が音声部分の文字起こしをしますので、読み上げ原稿があれば原稿、なければ音声付きスライド（もしくは音声データ）を障がい学生支援室にご送付ください。
- ・ 文字起こしの作業にはおおよそ2週間程度を要しますので、課題の提出期日につきましてご配慮ください。

2. オンデマンド（動画配信）型授業における配慮について

オンデマンド（動画配信）型授業における動画の配信方法は、YouTube、本学のストリーミングメディアシス

テム、OneDrive、GoogleDrive 等があります。聴覚障がいの学生が、これらのシステムを用いて授業を受講する場合、先生方が口頭で説明される音声を聞き取ることが困難、あるいは聞き取れませんので、以下の点に配慮をお願いいたします。

配慮・ご承諾いただきたい内容

- ・ ご自身で動画に字幕を付けていただくか、それが難しい場合は、障がい学生支援室（もしくはサポート学生）が文字起こしをして、音声部分のテキスト（文字データ）を障がい学生に送付します。つきましては、文字起こし作業を目的として、配信予定の動画を障がい学生支援室（もしくはサポート学生）が視聴することをお認めください。お認めいただけましたら、以下のいずれかの方法で動画を共有させていただきます。
 - ✓ 動画をアップされた YouTube、本学のストリーミングメディアシステム、OneDrive、GoogleDrive 等の共有リンク（URL）を障がい学生支援室にご送付ください。
 - ✓ e-class に動画をアップされた場合には、動画を障がい学生支援室にお送りいただく（サイズが大きいのので Webdisk や OneDrive 等にて共有してください）か、担当コーディネーターが当該科目の e-class にアクセスできるようご登録ください。担当コーディネーターを e-class のメンバーに登録する方法については別途ご案内します（e-class へのコーディネーターの登録は、科目担当の先生に行っていただくこととなります）。
- ・ 文字起こしの作業にはおおよそ 2 週間程度を要しますので、課題の提出期日につきましてご配慮ください。

3. 双方向オンライン型授業における配慮について

双方向オンライン型授業のツールとして、Microsoft Teams や Zoom 等のオンライン会議システムを利用されることと思います。リアルタイムに教員が講義したり、学生と双方向にやり取りをされることと思いますが、聴覚障がい学生は音声情報を取得できませんので、リアルタイムに情報保障が必要になります。障がい学生支援室では、サポート学生によるできる限りのリアルタイム通訳（Google ドキュメントのリアルタイム共同編集機能を使用）を予定しておりますので、以下の点にご承諾をお願いいたします。

配慮・ご承諾いただきたい内容

- ・ 双方向オンライン型授業を実施される場合には、必ず実施日より前（できれば 1 週間前まで）に障がい学生支援室にご連絡ください。実施直前ですと、利用学生へのリアルタイム通訳の概要説明、通訳者の確保・調整が間に合わないためです。
- ・ リアルタイム通訳を目的として、障がい学生支援室コーディネーター（または学生サポートスタッフ）が Teams や Zoom でのオンライン型授業を聴講することをお認めください。お認めいただけましたら、Teams の場合は、通訳担当のスタッフ（または学生サポートスタッフ）を当該科目のチームに登録いただき、Zoom の場合は会議 URL（およびパスワード）を支援室にご送付いただく形（支援室からサポート学生に URL を転送）になります。
- ・ Google ドキュメントのリアルタイム共同編集機能を使って、オンライン型授業の音声情報を聴覚障がい学生にリアルタイムに表示します。
- ・ 音声の聞き取りが困難であったり、通信不良などにより、リアルタイムに文字通訳をすることができなかった場合のために、レコーディングの許可と、レコーディングした動画の視聴（文字起こしのため）をお認めください。
- ・ 画面上のスライドや教科書の読み上げをされる場合には、どこを読んでいるかがわかるように、

PowerPoint のポインターオプションでポインターを表示させたり、教科書の「何行目」等を具体的に伝えるなど、読み上げ箇所を明示してから読み上げをお願いいたします。

- ・ 学生からの発言(反応)を求める場合には、利用学生が通訳を確認してからになりますので、少しタイムラグが生じます。

※上記に示したケース以外にも、特に支援を必要としないものの、難聴のために授業音声を「聞き取りにくい」学生も少なくありません。オンライン・オンデマンド授業では、できるだけはっきりと発音して下さるほか、(顔画像を映される場合には)口元が見えるようにマスクをしない、など、ご協力をいただければ幸いです

※動画や資料(特に一般学生には配布していない資料等)のやりとり等については、個別に科目担当の先生と相談させていただきます。

※利用学生の状況に応じて、要約筆記(授業内容をサポート学生が手書きで要約する方法)となることもありますので、該当する場合は個別にご連絡いたします。

※上記以外のツールを用いられる場合にもできる限り対応したいと考えておりますので、個別にご相談ください。

【視覚障がい学生に対する配慮】

視覚障がいの学生は、授業内容、教材・資料における視覚情報を「音声」や「テキスト」に変えて取得しています(テキスト化された情報は、各視覚障がい学生が自身で所有する端末で点字化して情報取得しています)。また、DUET や e-class 上で開示された連絡事項、授業情報の取得が困難です。以下に、視覚障がい学生に必要な配慮内容をまとめましたので、ご確認ください。

1. 授業に関する連絡事項のアナウンスについて

一般学生とは異なり、視覚障がい学生は、e-class や DUET 等で開示された連絡事項へのアクセスや当該情報の読み込みが困難ですので、以下の点に配慮をお願いいたします。

なお、視覚障がい学生は、メールで送信された内容(本文)であれば、PC やスマートフォンの「読み上げ機能」等を使って情報を取得できます。

配慮・ご承諾いただきたい内容

- ・ e-class を用いて受講生に連絡事項・資料・課題の提示を行う場合
障がい学生支援室が、授業資料・課題内容を確実に入手するために、担当コーディネーターが当該科目の e-class にアクセスできるよう登録いただくことをご承諾ください。担当コーディネーターを e-class のメンバーに登録する方法については別途ご案内します(e-class へのコーディネーターの登録は、科目担当の先生に行っていただくことになります)。
なお、e-class へのログインや回答登録等を出席とみなす授業において、メールでの対応等の代替措置を講じてください。
- ・ DUET を用いて受講生に連絡事項・資料・課題の提示を行う場合
DUET には、当該科目を登録している学生しかアクセスできません。つきましては、DUET にアップした連絡事項・資料・課題等を、本人と障がい学生支援室にもメールにてご送付ください。
- ・ WebDisk や OneDrive、GoogleDrive を用いて受講生に連絡事項・資料・課題の提示を行う場合
共有リンク(URL)を障がい学生支援室にもご送付ください。

- ・ Microsoft Teams の投稿画面やファイル共有ツールを用いて受講生に連絡事項・資料・課題の提示を行う場合
障がい学生支援室の担当コーディネーターを当該科目のチームのメンバーとして登録してください。
- ・ 上記のいずれかのツールを用いて課題の提出をさせる場合には、代替措置として、本人がテキストデータで学部事務室へメール提出することをお認めください。

2. 資料提示による授業での配慮について

視覚障がいの学生は、資料に記載された視覚情報を取得することが困難、あるいは取得できません。授業に必要な教科書や資料については、晴眼者（視覚に障がいのない者）と同等の情報を提供するため、本学では基本的に「テキストデータ化して情報保障する」という方針をとっています。つきましては、以下の通り視覚障がい学生のための配慮をお願いいたします。

配慮・ご承諾いただきたい内容

- ・ 視覚障がい学生は、個人で使用する端末で情報を点字化して内容理解しているため、テキスト化された資料の提供が必要です。ついては、授業資料をテキスト化して直接本人にメールで送信してください。
- ・ 授業ご担当者によるテキストデータ化が難しい場合は、障がい学生支援室で対応しますので、資料準備ができ次第(*)すみやかに障がい学生支援室 (do-txt◆mail.doshisha.ac.jp) へご依頼ください。
(*) 通常の対面授業においてはテキスト化の準備期間として 2 日間の猶予を頂戴しておりますが、今学期中は、本人の了解のもと暫定的に資料準備ができ次第の対応としております。
- ・ 資料に図、写真、表がある場合、本人はその内容を理解することができませんので、可能な範囲で文字に置き換えてください。文字への置き換えが難しい場合は、障がい学生支援室で対応しますので、資料準備ができ次第すみやかに障がい学生支援室 (do-txt◆mail.doshisha.ac.jp) へご依頼ください。
- ・ 教科書を使用される場合は、該当範囲をテキスト化し本人に手渡す必要がありますので、事前に使用される日と使用ページ数をお知らせください。

3. オンデマンド(動画配信)型授業における配慮について

オンデマンド(動画配信)型授業における動画の配信方法は、YouTube、本学のストリーミングメディアシステム、OneDrive、GoogleDrive 等があります。視覚障がい学生がこれらのツールにアクセスできるかどうかを確かめる必要がありますので、オンデマンド型授業を実施予定の先生は、障がい学生支援室までご連絡ください。また、オンデマンド教材の中に視覚情報が含まれる場合には、具体的な対応方法について相談させていただきます。

4. 双方向オンライン型授業における配慮について

双方向オンライン型授業のツールとして、Microsoft Teams や Zoom 等のオンライン会議システムを利用されることと思います。視覚障がい学生がこれらのツールにアクセスできるかどうかを確かめる必要がありますので、双方向オンライン型授業を実施予定の先生は、障がい学生支援室までご連絡ください。また、双方向オンライン型授業の中に視覚情報が含まれる場合には、具体的な対応方法について相談させていただきます。

【お問い合わせ】

ネット配信授業における合理的配慮に関するお問い合わせは、以下にお願いいたします。

学生支援センター 障がい学生支援室

jt-care◆mail.doshisha.ac.jp

今出川校地:075-251-3273

京田辺校地:0774-65-7411